

政策課題 ●公立中学校制服選択制の導入について

令和3年6月に各会派から意見を集め検討した結果、総務文教委員会は「公立中学校制服の選択制の導入について」を政策課題として設定しました。

それ以前に、議会一般質問においても、スラックス導入についての質問が出されており、さらに、議員個人の市民相談においても様々な理由・多様性の理由により、制服を選択したいとの相談が寄せられておりました。各中学校には、その都度個別対応をしていただいております。

委員会では、政策課題について12回の委員会、1回の勉強会を行い、前向きに議論を重ねてきました。公立中学校だけではなく、公立高校・私立中学高校でも導入の動きが進んでおります。

委員会や勉強会を行う中で、課題も見えてきました。

- ・防寒対策や自転車通学時の服装を、生徒の自主性に任せているのはどうか？
- ・制服の見直し等の根本対策に対する取組は十分なのか？
- ・時代や社会情勢の変化があり、2015年文部科学省の通知において「性同一障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施等について」が出されるなど、性の多様性という観点から制服に配慮していく新たな必要性も生じているのでは？

そこで、防寒対策など日常生活における利便性の向上にとどまらず、生徒の選択肢を広げ、一人一人がありのままに自分らしく快適に学校生活を送ることができる環境の実現につなげるために提言をまとめました。



提言はこちらから
確認できます



▲制服サンプル



▲市長に提言書を手渡しました